

地域の情報や身近な話題、
耳寄りな情報を
どしどしお待ちしております！



↑雨にうたれながらも懸命にプレーする選手たち

32 ポテトカップサッカー大会 チームが熱戦

第15回長島ポテトカップ争奪少年サッカー大会は12月19日・20日の2日間、川床コミュニティ運動場で開催されました。

今大会には県内と熊本県から32チームが出場。初日は雪が舞い、2日目は雨が降り注ぐ厳しいコンディションとなりましたが、子どもたちは元気いっぱいの試合を展開しました。

本町からは平尾・川床合同チームの長島FCが出場し、決勝トーナメントへ進出しました。選手たちは雨でびしょ濡れになりながらも、ファイトあふれる戦いを見せていました。結果は米ノ津サッカー少年団と1-1で引き分け、PK戦で惜しくも敗れました。

4 東町漁協青壮年部が慰問 施設に寒ブリ食べて

日本一のブリをおいしく食べてー。東町漁協青壮年部は12月10日、町内の福祉施設へ養殖ブリをプレゼントしました。

同部はこの取り組みを毎年続けていて、この日は竹上裕記部長が特別養護老人ホーム桃源郷やあかね園、養護老人ホーム長生園、グループホームスマイル園の4施設へ、組合員が丹精込めて育て上げた、今が旬の寒ブリを届けました。

あかね園では、入所者たちが玄関ロビーで竹上部長を出迎え、竹上部長から入所者代表へ養殖ブリ「^{ぶりおう}鰯王」が手渡されました。

各施設を訪問した竹上部長は「皆さんに喜んでもらえました。私たちが育てた安心、安全なブリをおいしく食べてほしいです」と話していました。



↑入所者代表へ鰯王を贈る竹上部長